

## 7組の作家による現代アートの展覧会を開催

企画展/CONNEXIONS コネクションズ—接続するアーティストたち



鳥取県立美術館（鳥取県倉吉市、館長 尾崎信一郎）は、来年2026年2月7日(土)から3月22日(日)まで、冬の企画展 **CONNEXIONS コネクションズ—接続するアーティストたち** を開催します。2025年3月に「未来をつくる美術館」として開館した当館は、新しい価値を育み、文化をともに育めていく場として、同時代の表現を紹介することにも力を注いでいます。その一環として開催する本展では、作品を通じて文化や社会の断絶を越え、異なる領域を架橋する国内外のアーティスト7組を招聘します。

### Artists 参加する7組のアーティスト

- **Marianna Christofides** マリアンナ・クリストフィデス [アーティスト／リサーチャー、キプロス出身]
- **遠藤 薫 エンドウ・カオリ** [アーティスト、大阪出身]
- **Museo Aero Solar** ムセオ・エアロ・ソラール [トマス・サラセーノによるアートプロジェクト]
- **mamoru** マモル [サウンド・アーティスト、大阪出身]
- **SIDE CORE** サイドコア [アーティスト・チーム、東京拠点]
- **刷音 シュアイン** [アーティスト・チーム、日本・中国・韓国]
- **高嶺 格 タカミネ・タダス** [アーティスト、鹿児島出身]

## Hilights 見どころ

### 1、“見る”芸術から、“参加し”、“体感する”芸術へ。

本展ではアーティストがワークショップ、イベントを多数実施し、アートへのさまざまな関わり方を提案します。サウンド・アーティスト **mamoru** が実施するプロジェクト「声を挙げ、絶やさない」では、パフォーマンスの参加者を一般公募し、6月、10月に県内8カ所で開催したワークショップには約120名が参加しました。2月8日（日）には全参加者が集合し、ワークショップの成果を美術館内で発表します。ビニール袋をリサイクルして巨大なバルーン型美術館を作る「ムセオ・エエロ・ソラール」は、展覧会期前から袋の収集を始め、繋ぎ合わせる作業を参加型で実施します。アーティスト・グループ **刷音** は、会期中シルクスクリーン・ワークショップやDJライブなど、様々な体験プログラムを全4回開催します。

### 2、ここでしか見られない!本邦初や新作がずらり

今見るべき実力派や注目の若手アーティストたちが鳥取をリサーチし、そこから得たアイデアを元に作品を制作、発表します。アートのオリンピック、ベネチア・ビエンナーレにキプロス代表として参加した**マリアンナ・クリストフィデス**は、日本の美術館で初めて展示するほか、**高嶺格**、**遠藤薰**、**サイドコア**といった注目のアーティストたちによる最新作は必見です。

### 3、気づいたら学んでた!アートを入口に世界を知ろう

歴史や社会の問題をテーマとしながら自由な手法で遊び場を作るアーティスト・グループ **刷音** や、人間と環境との関係や持続可能な生活のあり方を問いかける **ムセオ・エエロ・ソラール**、現代の移民・環境問題をテーマに作品制作する**マリアンナ・クリストフィデス**など、楽しみながら深い学びへと誘う「アート」の魅力を伝えます。



7組の作家についてこちらもご覧ください。

(とたより 04)

[https://tottori-moa.jp/wp-content/uploads/2025/12/totayori04\\_tokusuu.pdf](https://tottori-moa.jp/wp-content/uploads/2025/12/totayori04_tokusuu.pdf)

## Events 関連イベント



Museo Aero Solar in Prato, Italy, 2009, Museo Aero Solar in Munich, Germany, 2019 / Ph. Janis Elko. Ph. Studio Tomás Saraceno



高嶺格《脱皮的彫刻》2025／千葉市役所／提供：千葉国際芸術祭実行委員会／撮影：ただ(ゆかい)

### ① 〈風と太陽の美術館/Museo Aero Solar〉 プロジェクト

<https://tottori-moa.jp/news/24213/>

### ② 【彫刻のモデル・制作助手を求ム！！】高嶺格「脱皮的彫刻」と一緒に作りませんか？

<https://tottori-moa.jp/news/24539/>

### ③アーティストによるギャラリー・トーク

日時：2月7日(土) 14:00～15:30 /要観覧料

### ④刷音ライブ&シルクスクリーン印刷会「刷音 鳥取」

日時：2月7日(土) 15:00～ /無料

### ⑤mamoru 「声を挙げ、絶やさない」

日時：2月8日(日)、3月1日(日) 定員20名 /無料

ワークショップ 13:00～14:00

公開セッション 15:00～15:30

### ⑥学芸員によるギャラリー・トーク

日時：2月14日(土)、2月28日(土)、3月7日(土)

各回とも 14:00～15:00 /要観覧料



## Ticket オンライン前売チケット発売開始

12月7日(日)より、オンラインにてお得な前売チケットを販売します。

・販売期間 12月7日(日)～2026年2月6日(金)まで

## Exhibition 展覧会概要

**展覧会名** CONNEXIONS コネクションズ—接続するアーティストたち

**会期** 2026年2月7日(土)～3月22日(日)

**会場** 鳥取県立美術館 3F企画展示室、1Fひろま

**開館時間** 9:00～17:00(入館は16:30まで)

**休館日** 月曜日(2/23は開館)、2/24(火)

一般：1200円(950円)

学生：750円(600円)

高校生：500円(400円)

小中学生：300円(240円)

**観覧料** \*()内は前売料金・20名以上の団体料金

\*未就学児、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者は無料

\*企画展のチケットでコレクション展もご覧いただけます。

\*前売券はオンラインチケットのみの販売です。

\*2026年2月6日(金)までは前売料金、2月7日(土)から会期中は通常料金です。

**主催** CONNEXIONS 展実行委員会(鳥取県、鳥取県立美術館パートナーズ、日本海テレビ、TPlat)

**公式サイト** <https://tottori-moa.jp/exhibition/view/exhibition-04-2/>

**展覧会チラシ** [https://tottori-moa.jp/wp-content/uploads/2025/11/CONNEXIONS\\_Flyer\\_web\\_s.pdf](https://tottori-moa.jp/wp-content/uploads/2025/11/CONNEXIONS_Flyer_web_s.pdf)

**オンラインチケット** <https://artsticker.app/events/98408>

\*スムーズにご入場いただけるよう、オンラインチケットを販売中です。

\*会期中は美術館窓口でも当日券を販売いたします。



本件について、ご取材・ご紹介いただける場合は、下記担当までご連絡ください。

[問合せ]鳥取県立美術館パートナーズ 広報担当（山本・三浦・興治）

Email | [info@tottori-moa.jp](mailto:info@tottori-moa.jp) TEL | 0858-24-5442 WEB | <https://tottori-moa.jp>

2026.2.7—3.22<sup>SAT SUN</sup>

会場|鳥取県立美術館 3F企画展示室 開館時間|9:00-17:00(入館は16:30まで)

休館日|月曜日(2月23日は開館)、2月24日(火)

主催|CONNEXIONS 展実行委員会(鳥取県、鳥取県立美術館パートナーズ、日本海テレビ、TPlat)



鳥取県立美術館  
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

Marianna Christofides

マリアンナ・クリストフィデス

遠藤 薫

Kaori Endo

Museo Aero Solar

ムセオ・エアロ・ソラール

mamoru

マモル

SIDE CORE

サイドコア

刷音

シェイン／Printing Sound

高嶺 格

Tadasu Takamine

人をつなぐ 領域をつなぐ 世界とつなぐ  
国内外の7組のアーティストたちによる挑戦



公式WEBサイト

コネクションズ—接続するアーティストたち

CONNEXIONS: Artists as Bridges

# CONNEXIONS

コネクションズ—接続するアーティストたち  
CONNEXIONS: Artists as Bridges



1



2

## 関連イベント Event

- アーティストによるギャラリー・トーク  
2月7日(土) 14:00-15:30  
3F企画展示室、要観覧料
- 刷音 ライブ&シルクスクリーン印刷会「刷音 鳥取」  
2月7日(土) 15:00-  
ホール、スタジオ2・3ほか、入場無料
- mamoru「声を挙げ、絶やさない」  
2月8日(日) ワークショップ 13:00-14:00  
公開セッション 15:00-15:30  
ひろまほか美術館内、参加・見学無料
- 学芸員によるギャラリー・トーク  
2月14日(土)、2月28日(土)、3月7日(土)  
各回とも14:00-15:00  
3F企画展示室、要観覧料

## 材料収集にご協力ください

Museo Aero Solar [風と太陽の美術館]プロジェクトでは、使用済みのきれいなプラスチック袋(レジ袋など)を集めています。集まった袋をつなげて巨大なバルーン美術館を作ります。館内の収集BOXに袋をお持ちください。

収集期間: 10月28日(火) ~目標枚数達成まで(8000枚)

関連イベントおよび、Museo Aero Solar [風と太陽の美術館]プロジェクトについての詳細は、展覧会WEBサイトにてお知らせします

展覧会WEBサイト

鳥取県立美術館は、2025年3月に「未来をつくる美術館」として開館しました。新しい価値を育み、文化をともに育てていく場として、同時代の表現を紹介することにも力を注いでいます。その一環として開催する本展では、作品を通じて文化や社会の断絶を越え、異なる領域を架橋する国内外のアーティスト7組を招聘します。

パンデミックを経た今日、災害や戦争、グローバル経済の混乱によって、不安定さと脆さが一層際立つ世界に私たちは生きています。変化の渦に揺れる状況下で、アートはいかなるビジョンを示すことができるのでしょうか。本展は、「つながり」「関わり」を意味する「コネクションズ」をテーマに掲げ、アートと社会の未来の姿を描く企画として構想されました。音楽や演劇、パフォーマンスなど異なる領域を横断し、美術を「体験の場」へと広げる表現、そして多様な文化的背景をもつアーティストによる、世界を越境し共生の道を探る取り組みを紹介します。彼らの表現は、単なる物質的な作品を超えて、人々との体験や参加、身体を用いた実践や協働のプロセスなど多面的な行為性を含み、新たな関わりや出来事を生み出します。これらの活動は美術の領域を広げ、従来の枠を越えた表現の可能性を示すとともに、「コネクションズ」というタイトルが示す通り、異なる文化や社会的背景を横断し、新たな関係性を築くものです。

また、会期中には、パフォーマンスやワークショップ、来場者が参加できるプロジェクトも展開します。

本展を通じて、人々の創造性が引き出され、地域と美術館、そして未来をつなぐ可能性が拓かれることを期待しています。

The Tottori Prefectural Museum of Art opened in March 2025 with the vision of becoming "a museum that creates the future." As a place to nurture new values and cultivate culture together, the museum is also committed to presenting the art of our own time. As part of this mission, this exhibition brings together seven artists and collectives from Japan and abroad whose works transcend cultural and social divides and build bridges across different fields. Today, in the aftermath of the pandemic, we live in a world where instability and fragility have become increasingly evident due to disasters, wars, and global economic turmoil. Amidst these turbulent changes, what kind of vision can art offer? Under the theme of "connexions," meaning "connection" and "relationship," this exhibition is conceived as an attempt to imagine the future of art and society. It presents practices that expand art into an experiential space by incorporating elements of music, theatre, and performance, as well as initiatives by artists with diverse cultural backgrounds who seek pathways to coexistence across borders. Their practices go beyond material objects to encompass multifaceted performativity—including encounters with people, participatory processes, bodily actions, and forms of collaboration—that generate new relationships and events. These activities broaden the scope of art and point to possibilities beyond conventional boundaries, and, as the title "connexions" suggests, they cross different cultures and social contexts to create new relationships. Throughout the exhibition period, performances, workshops, and participatory projects will also be presented.

We hope this exhibition will inspire creativity among people and open possibilities for connecting the community, the museum, and the future.



5



6



7

1. マリアンナ・クリストフィデス《Restor(y)ing Waters/Rivers, Banks》  
展示風景、2024  
Marianna Christofides, Restor(y)ing Waters/Rivers, Banks,  
installation view, 2024. Photo Natalia Tsoukala | courtesy NEON  
© Marianna Christofides | VG Bild-Kunst, Bonn 2024

2. 遠藤薫《重力と虹霓—南波照間島について》2023、  
展示風景、大阪中之島美術館  
Kaori Endo, Gravity and rainbow/About the "Pai-Patiroma"  
phantom island, 2023. Installation view at Nakanoshima Museum  
of Art, Osaka, Japan. Photo by the Artist

3. メセオ・エロ・ソラール《ムセオ・エロ・ソラーレーチェンライ》2023-2024  
Museo Aero Solar, Museo Aero Solar-Chiang Rai, 2023-2024.  
Courtesy Museo Aero Solar, in particular communities of the Chiang  
Rai Biennale, Thailand. Photo Credit: Joaquin Ezcurra, Aerocene

4. mamoru《声を挙げ、絶やさない》2021-  
Szczecin(ポーランド)でのグループワークの様子、2024年5月15日  
mamoru, NEVER BE NO VOICE, 2021-ongoing, group work session,  
May 5, 2024 at Szczecin (Poland). photo: Tien Yuan

5. SIDE CORE/EVERYDAY HOLIDAY SQUAD《rode work ver. tokyo》  
2018/2022 展示風景、森美術館 2022-2023  
SIDE CORE / EVERYDAY HOLIDAY SQUAD, rode work ver. tokyo  
2018/2022. Installation view at Mori Art Museum, 2022-2023  
Photo: Kioku Keizo

6. 刷音《刷音》ワークショップ風景、2018年12月14日、  
四方当代美術館、南京  
SURE INN, Printing Sound, workshop view from Printing Sound,  
December 14, 2018. Sifang Art Museum, Nanjing.

7. 高嶺章《いかに考えないか》2010、あいちトリエンナーレ2010、  
七ツ寺共同スタジオでのパフォーマンス  
Tadasu Takamine, How Not to Think?, 2010. Nanatsudera Kyodo  
Studio, AICHI TRIENNALE 2010.

※画像は実際の展示とは異なります

## 観覧料 Admission Fee

一般: 1200円(950円)、学生: 750円(600円)、  
高校生: 500円(400円)、小中学生: 300円(240円)  
※()内は前売料金・20名以上の団体料金  
※未就学児、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者は無料  
※企画展チケットで当日コレクション展もあわせてご覧いただけます

## 交通アクセス Access

## 【鉄道・バスの場合】

JR 倉吉駅よりバスで約10分、「県立美術館前」下車

## 【倉吉駅まで】

鳥取砂丘コナン空港からバスで約45分

米子鬼太郎空港からJR特急等で約1時間10分

大阪駅からJR特急で約3時間

岡山駅からJR特急で約2時間40分

## 【車の場合】

岡山・広島方面 米子道 湯原ICから約50分

大阪方面 中國自動車道 院庄ICから約1時間

※駐車場あり(110台)

## オンラインチケット Online Ticket

前売料金: 2025年12月7日(日)~2026年2月6日(金)

通常料金: 2026年2月7日(土)~2026年3月22日(日)

※窓口での当日券販売もございます。



ArtSticker



鳥取県立美術館  
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

T 682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町2-3-12  
TEL 0858-24-5442 (代表)  
<https://tottori-moa.jp>



3



4